

テックドクターによる技術的助言 (熊本県道路メンテナンス会議・技術検討部会)

- ・開催目的 : 道路構造物や施設の老朽化対策について、具体的な症例研究を通じて理解を深め担当者レベル相互の情報共有を図り、メンテナンス力の向上を図ると共に、有識者からの考察ならびに技術的助言を頂く。
- ・開催日 : 令和6年1月30日
- ・参加者 : TEC-Doctor(熊本大学 松村教授)、テックシニアーズ、熊本県外45市町村、西日本高速道路(株)、国土交通省

● テックドクターによる症例検討会における技術的助言



■ 諮問事項

① 水俣市(幸橋)

⇒健全度のⅢは妥当であったのか、どのくらいの損傷で健全度Ⅳを判定したら良いのか、判断が難しい。

② 合志市(東岩迫橋)

⇒コンクリート舗装と主桁に密着性が残っていたため、複合薄層遮水性舗装を選択した。他の工法または打ち換えを行わなかったことによる懸念点があればご教授いただきたい。

③ 産山村(上乙宮橋)

⇒一般的な断面修復以外に、費用が削減できる方法、また工期が短縮できるような方法があればご教授願いたい。

■ テックドクターの主な見解・意見

① 梁のひび割れが前回から大きくなって下面で3mmは大きい。写真で見ると下から上まで同じラインで通っているような感じで、これももし無筋であれば危険。

② この桁の漏水の予防という意味では先手を打って行ったということで理解できるが、コンクリートのうきの問題があり、これで解消できる対策かどうか疑問。今回、何の目的で行ったか、ある程度明確にしておく必要がある。

③ 特にこの橋の場合、路面の水対策も含めて検討する必要がある、具体的な対策を考える前に、まず現地の状況を見る必要がある。